ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E142E010	古典文学演習 (Japanese Classical Literature (Seminar))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	後期	金3	日本語		単独

担当教員	氏名　安道　百合子 E-mail　y-andou@oita-u.ac.jp　内線　7535
授業の概要	『源氏物語歌合』の一対の和歌に関して、読解鑑賞の演習を行う。一人一番を担当し、レジュメに基づいて発表する。典拠場面、作者、文法的説明、語釈、解釈、現代語訳、鑑賞が必須事項で、そのほか、参考論文の紹介や、選歌意識など自分なりの課題の提示をする。発表後、全員で討議し、課題の解決を図る。古典和歌の研究方法を学び、習得する。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	和歌解釈の手続きを習得する。		○						
目標2	担当和歌について注釈・現代語訳・鑑賞のレジュメを作成して発表する。		○	○	○				
目標3	発表者の研究に対して皆で討論し、課題を解決する。			○	○				
目標4	自分なりに課題設定をして、研究レポートを書く。		○		○				
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
	各DPへの関連度（計10）		5	2	3				

授業の内容	
1	演習課題と進め方についての解説。
2	演習（１）桐壺帝と朝顔斎院
3	演習（２）朱雀院と大宮
4	演習（３）冷泉院と明石中宮
5	演習（４）六条院と六条御息所
6	演習（５）薄雲女院と秋好中宮
7	演習（６）蛍兵部卿宮と玉鬘尚侍
8	演習（７）宇治八宮と落葉宮
9	演習（８）匂兵部卿宮と朧月夜尚侍
10	演習（９）女三宮と手習君
11	演習（１０）紫上と薫大将
12	演習（１１）総角大君と柏木権大納言
13	演習（１２）花散里と源典侍
14	演習（１３）致仕太政大臣と紫上の祖母尼君
15	演習（１４）夕霧大将と明石上

アクティブラーニング				その他の工夫
	A:知識の定着・確認	○	本文提示、注釈、現代語訳、鑑賞、問題の所在、などを明記したレジュメを作成して、発表する。発表後には、それぞれ意見を述べ合い、解決を図る。期末には、自分なりの課題設定をしたレポートを仕上げる。	
	B:意見の表現・交換	○		
	C:応用志向			
	D:知識の活用・創造			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	個人演習の準備をする。作品読解、注釈作業、現代語訳作成、参考文献調査などを含むレジュメを作成する。発表担当でない場合も、通読、自分なりに解釈、鑑賞を考えて準備する（30h）。
	事後学修	授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで興味関心を広げる。自分なりに課題を見つけて、研究を進める（15h）。
	想定時間合計	45

教科書	プリント配布。
参考書	『王朝物語秀歌選（下）風葉和歌集下・源氏物語歌合』（樋口芳麻呂校注　岩波文庫1989　ISBN4003003721）ほか、適宜紹介する。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	演習レジュメと発表	40%	○	○								
	授業時、議論への参加	10%	○		○							
	期末レポート	50%	○			○						

注意事項	討論には積極的に参加して、自分の意見を述べること。
備考	古語辞典必携。
リンク	
URL	